

国立成育医療研究センターでは下記の研究を実施しております

研究名：ソニーのエンタテインメントロボット aibo による介在療法が慢性疾患を有する小児に与える癒し効果の検証
～小児のコンサルテーション・リエゾン活動における新たな介入として～

1. 研究の目的

当センターこころの診療部では療養中の子どもの心理社会的問題を対象に医師、心理士などがチームとなり連携して支援を行っています。本検討は、当センターにおけるリエゾンデータベースをもとに、小児医療におけるコンサルテーション・リエゾンの特性と今後の課題を検討するため、以下の内容に関して分析を行っています。

(1) 2015年からこれまでにを行ったリエゾン活動の集計と課題の検討

- ① 年代別依頼件数
- ② 依頼科（チーム医療制または依頼制で分類）
- ③ 年代別依頼内容
- ④ 対象ケースの ICD 分類
- ⑤ 介入内容の検討

(2) ソニーaibo との集団コミュニケーション遊びにおける子どもの行動観察（質的検討法を用いて）

(3) 小児がんセンターに入院する子どもと家族を対象にした心理社会的アセスメント

- ①当科で作成したリエゾンアセスメントシートによる半構造化面接の評価
- ②KINDL を用いた子どもと家族の QOL 評価

2. 研究の方法

①研究対象：当センターにて 2015 年 4 月～2018 年 8 月までにこころの診療部リエゾン診療科で診療を行った方

②研究期間：倫理審査委員会承認後～2021 年 3 月

③研究の方法：長期療養に伴う心理発達上のリスクを分析し、そのケアに関してより安全で安心な方法を検証します。とくに、集団療法として、AI（ソニーの aibo）を用いた心のケアの可能性をこれまでの検討を踏まえて探索的に検証します。

3. 研究に用いる情報の種類

病歴、検査データ、カルテ番号、リエゾン解析データ 等

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

公開データベース：国立大学附属病院長会議(UMIN)が設置している公開データベースに登録します。また研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、12月29日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター ころの診療部 児童・思春期リエゾン診療科
(担当者氏名) 田中恭子

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181 (内線：7755)

○研究責任者：

国立成育医療研究センター ころの診療部児童思春期リエゾン診療科
(責任者氏名) 田中恭子